



## 【学校紹介】

- 学校規模：児童生徒数 136名、教職員数 97名
- 学校の特徴：本校は、西白河郡西郷村に所在し、主に知的障がいの児童生徒を中心とした特別支援教育を行っています。福島県が掲げる特別支援教育の基本理念である「地域で共に学び、共に生きる教育」を推進するため、保護者や学園、そして地域の関連機関との連携のもと、児童生徒一人一人の教育的ニーズに応じた教育活動の実現を目指しています。



## 新学習指導要領を踏まえた授業づくり ～単元展開案の活用～

P31 各教科等を合わせて指導を行う場合においても、各教科等の目標を達成していくことになり、育成を目指す資質・能力を明確にして指導計画を立てることが重要である。

各教科等を合わせた指導の中で、「評価する教科」を明確にしよう！！

新学習指導要領改訂のポイント  
知的障がいのある児童生徒の  
教科指導の充実

生活単元学習には様々な教科の内容が含まれているけど、評価する教科って、それを全部書くの？

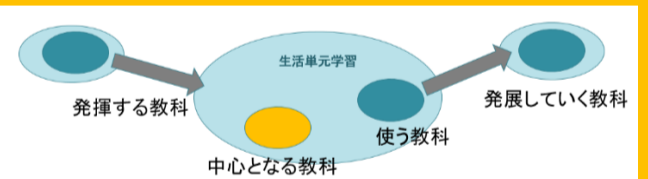


先生方の声

学習活動展開案(単元展開案)	
学級・学習グループ	学部 年 組(名) 通常の学級・重複障がい学級
各教科等名	指導者
使用教科書等	
単元・題材名	
児童生徒の生活上の目標や課題から、本単元を設定した教師の願い	
「こんなふうになってほしい」「こんな力を身に付けてほしい」など	
単元目標	(1).....することができる。[知識及び技能] (2).....することができる。[思考力、判断力、表現力等] (3).....しようとする。[学びに向かう力、人間性等]

指導計画 (小単元・題材、内容・活動)	月日	時間	手立ての工夫	評価する教科
1				生活 工 遊び
2				図工
3				

活動内容に対して、  
中心となる教科=評価する教科を整理。



単元 中での 教科の 評価 規準	評価する教科 (段階、内容)	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	主体的に学習に取り組む態度
	生活 1段階 工 遊び	評価する教科について、3観点で評価規準を設定。		
図工 1段階				

自立活動における個別の具体的な指導内容【個別の指導計画(自立活動)より】

### 自立活動の評価

→「個別の指導計画(自立活動)」へ

### 各教科の評価

→「個別の指導計画(生活単元学習)」へ

個別の指導計画(教科等の指導)		生活単元学習	
(記入者)		(記入年月日)	
氏名	担当	年	月
○目標(単元・題材名)	○指導内容・方法(手立て)	○評価する教科	○評価
○生活			
○国語			
○図工			

評価する教科名を記入↑

## 【成果と課題】

- 各教科等を合わせた指導において、単元展開案の中で「評価する教科」を整理したことで、教師が各教科の内容を意識して指導に向かうことができた。また、児童生徒の中で学習内容が積み重なって、身に付けた力を活用することができた。
- 計画段階で、「評価する教科」を意識することができるようになってきたが、単元終了後に教科として何が身に付いたかという評価を明確にすることが定着しておらず、個別の指導計画との関連も含めて学習評価の習慣化が課題となっている。